

2020.11.27.

教育アセスメント×言語処理シンポジウム
～自動採点、英文添削、論述評価の可能性～

模範解答をなぞる英作文学習から卒業しよう！

弱点を知り主体的なやり直しを促す支援ツールの開発



 **Eight**



since 1890

増進堂・受験研究社

<http://www.zoshindo.co.jp/>

NEXT LEARNING Labs 主任研究員

岡田健志

okada.t@zoshindo.co.jp



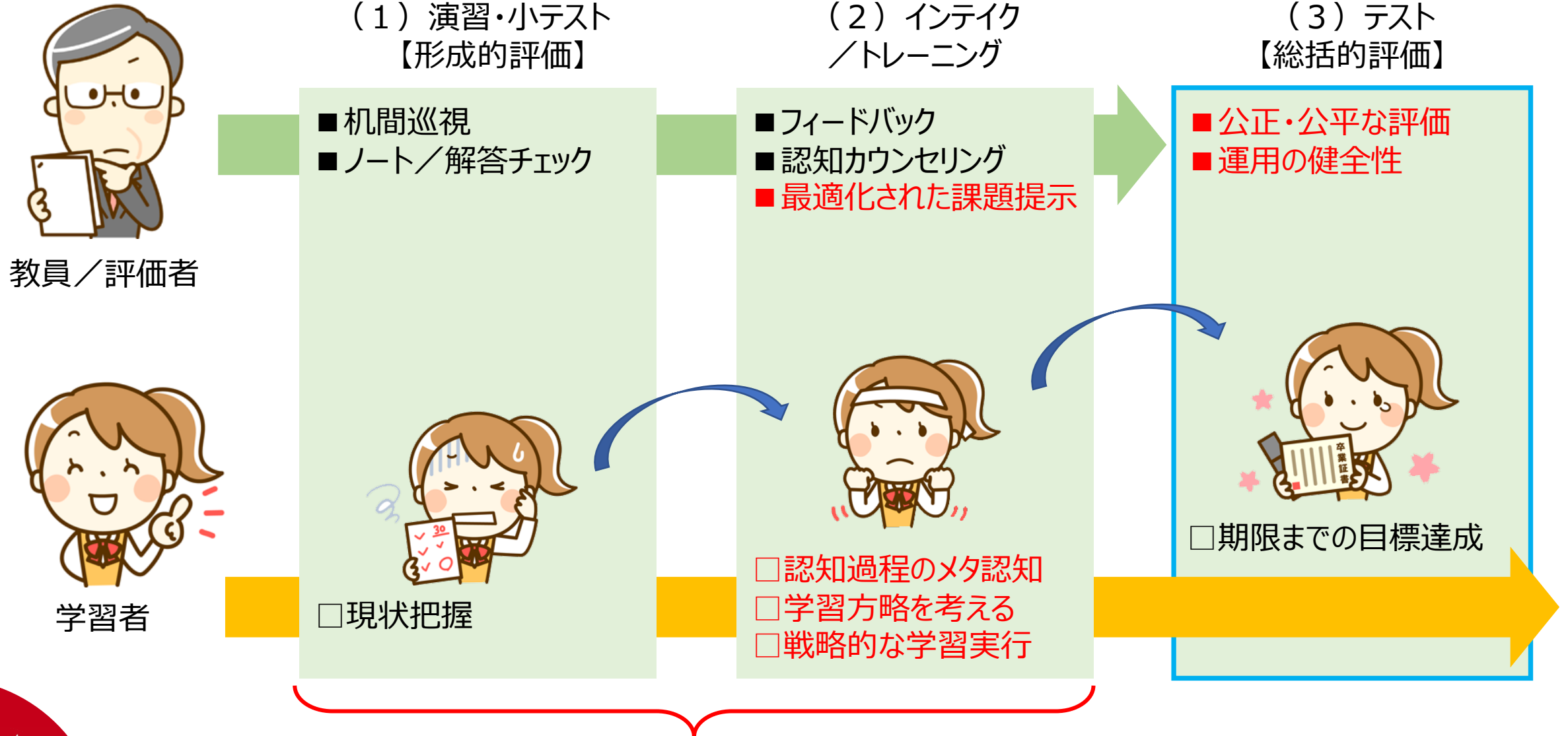
since 1890

増進堂・受験研究社



目的

教材会社として：自己調整学習者を育成する

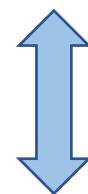


▶ 自分に最適化した「学び方」戦略を構築するサポート

私が最初に英語を教わった先生はアイルランド人でした。
彼女は日本で30年暮らしていて、日本語がペラペラでした。

(She spoke) fluent Japanese because she had lived in Japan for thirty years.

差分は？「どこ」を「どう」間違えた？
何を意識してやり直しをする？



(She spoke) English well as she has lived in Japan for thirty years.

(何をしたいかわからないと・・・)

模範解答をなぞって覚える！という戦略（無戦略？）に陥る



▶ 「どこ」を「どのように」やり直すかを考えるための機会を提供

テストでの評価→得点→linearな序列化



She spoke Japanese well because she has been living in Japan for 30 years.					
	項目	基準（個別ルーブリックでは個別の該当箇所が入る）	○	△or「-」	×
全体評価項目	A設問への適切な回答 ※回答として不適切	設問に対して拡大解釈していないか、余計な回答になっていないかなど。	回答英文が設問の意図を汲み取っている	誤解を招く表現が入っていたり、適切な回答としては難がある。	無回答もしくは甚だしく設問から逸脱している回答である。
	Bスペルミス	誤字・脱字など	（ツール上でスペルミスは赤字反転）		
設問固有項目	C構文・文法・語順	従属節：because[for/as]SV	because		それ以外
		時制：従属節内の時制が過去完了もしくは過去形	had lived/lived		has lived/lives/それ以外
		語順：SV 場所・時間の順になっている			
	D表現・語句	表現：「日本語がペラペラ」	fluent Japanese /Japanese fluently	現時点で社外秘	smooth/easy/clearlyそれ以外の言語
		表現：「日本で」	in Japan (country)		それ以外
		表現：「30年」	for thirty/30 years	for about thirty/30 years	前置詞は/during/それ以外
		語句：「暮らす」	liveを		stay/be



▶（１）評価する項目を複層的に用意：構文・文法・語順／表現・語句

（２）多様な回答に対して、再現性が高いルーブリックの開発



She spoke Japanese well as she had lived in Japan for thurty years.

採点基準A 基準 アドバイス △ 適切な（形容詞＋目的語）or（目的語＋副詞）が書けている	採点基準B 基準 アドバイス △ 従属節（接続詞＋SV）が適切に書けている
採点基準C 基準 アドバイス ○ 従属節内の時制が適切に書けている	採点基準D 基準 アドバイス ○ 場所を表す表現（前置詞＋名詞）が適切に書けている
採点基準E 基準 アドバイス ○ 期間を表す語が適切に書けている	スペルミス アドバイス ① <u>thurty</u> → thirty



- ▶ (1) どの基準が到達できていないのか（基準）
(2) どのような点に注意すべきなのか（アドバイス）
→「やり直し」をしながら学ぶ経験を蓄積させる



May **AI** be with you.



since 1890

増進堂・受験研究社